独自調査「約束手形をはじめとする支払条件の変化について」
（2021年６月調査）

政府は現在、約束手形の支払期日を60日以内に短縮する方針や、2026年度には約束手形を廃止する方針を打ち出している。

・現在の売上金の回収方法については、「銀行口座振込」が90.7%と最も多く、次いで「現金・小切手」が55.9%となった。「約束手形」が43.7%であり、「電子記録債権（でんさい）」の24.7%と「約束手形」と比較して「電子記録債権（でんさい）」が下回った結果となり、製造業、卸売業では、依然として「約束手形」での売上金の回収の割合は高い結果となっている。

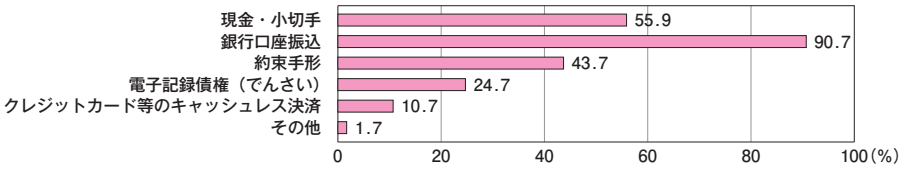
・約束手形が廃止された場合、希望する売上金の回収方法については、「銀行口座振込」が52.6%と最も多くなっている。「電子記録債権（でんさい）」は10.9%であるが、約束手形の代替手段としては「銀行口座振込」に次ぐ結果となった。

・電子記録債権（でんさい）の現在の利用状況については、「利用する必要がない」が40.7%と最も多い。「すでに利用している」が30.7%であるが、その内訳について、業種別で見てみると製造業50.9%、建設業36.0%、卸売業30.4%のウェイトが大きいが、同じ業種で製造業22.3%、建設業35.1%、卸売業32.9%が「利用する必要がない」と答えている。業種別等、個々に認知の度合いに差はあると思われるが、「利用する必要がない」と40.7%が回答しているものの、今後手形の電子化が進むことによって約束手形の代替手段である電子記録債権（でんさい）にシフトしていく可能性がある。

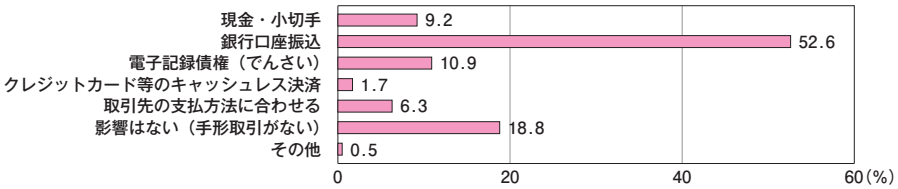
・売上金の平均回収期間（取引先へ請求してから現金化する期間）は、業種別で見ると「３ヵ月以上４か月未満」の内、製造業22.3%、建設業18.0%、卸売業23.2%、「４カ月以上」では、製造業が12.6%であり、この３業種の支払条件の改善が進んでいくことが期待できる。

・今後、約束手形の期日短縮・廃止された場合の影響（メリット・デメリット）については、「売上金の早期回収が可能」が44.3%と最も多く、「手形割引等の利息負担減」が22.1%、印紙代や郵送費、代金取立手数料などのコスト削減が20.3%となった。今回の対象企業にとってはデメリットよりメリットの方が期待が大きいと思われる結果となった。

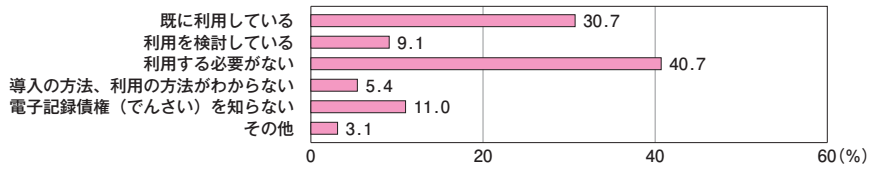
問１．貴社では現在どのような方法で売上金を回収していますか。次の中から最大3つ選んでお答えください。



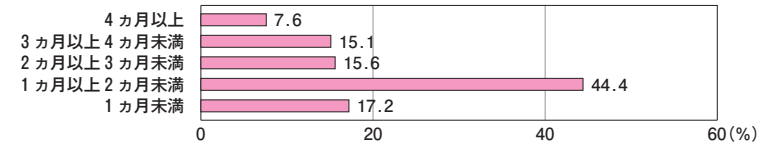
問２．約束手形が廃止された場合、貴社が希望する売上金回収方法を次の中から１つ選んでお答えください。



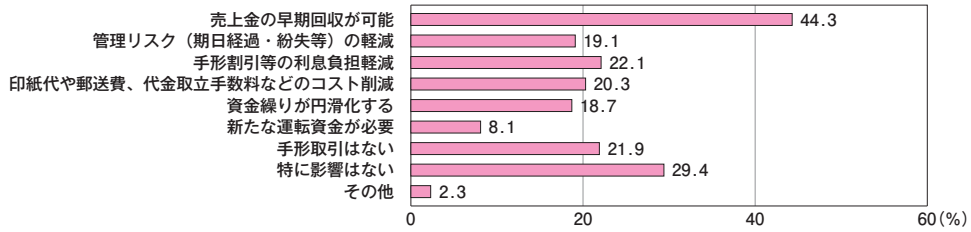
問３．約束手形の代替手段である電子記録債権（でんさい）の貴社の利用状況について、次の中から１つ選んでお答えください。



問４．貴社の売上金の平均回収期間（取引先へ請求してから現金化するまで）はどのぐらいですか。次の中から１つ選んでお答えください。



問５．政府は、約束手形を廃止する過程で、手形等の支払サイトを業種にかかわらず60日以内に短縮する方針も打ち出しています。今後、約束手形の期日短縮・廃止された場合、貴社にどのような影響（メリット・デメリット）がありますか。次の中から最大３つ選んでお答えください。



約束手形をはじめとする支払条件の変化について

（単位：％）

調査項目		調査対象	全体	業種別						従業員規模別		
				製造業	建設業	卸売業	小売業	不動産業	サービス業	1～9人	10～49人	50人以上
		総回答数（件）	590	176	113	82	50	48	121	329	214	47
問1	貴社では現在どのような方法で売上金を回収していますか。次の中から最大３つ選んでお答えください。	現金・小切手	55.9	42.6	41.6	65.9	86.0	81.3	59.5	63.5	47.7	40.4
		銀行口座振込	90.7	93.8	90.3	95.1	80.0	95.8	86.0	88.4	93.5	93.6
		約束手形	43.7	71.0	49.6	59.8	14.0	6.3	14.9	35.6	55.6	46.8
		電子記録債権（でんさい）	24.7	42.0	31.9	26.8	4.0	2.1	9.1	14.6	35.0	48.9
		クレジットカード等のキャッシュレス決済	10.7	2.8	2.7	12.2	46.0	0.0	18.2	12.5	7.9	10.6
		その他	1.7	2.3	0.9	0.0	0.0	4.2	2.5	2.4	0.9	0.0
問2	約束手形が廃止された場合、貴社が希望する売上金回収方法を次の中から１つ選んでお答えください。	現金・小切手	9.2	8.6	7.2	4.9	12.8	24.4	7.8	10.4	8.4	4.5
		銀行口座振込	52.6	54.9	65.8	67.1	31.9	46.7	37.1	51.9	55.1	45.5
		電子記録債権（でんさい）	10.9	17.7	10.8	14.6	4.3	0.0	5.2	7.9	13.6	20.5
		クレジットカード等のキャッシュレス決済	1.7	1.7	0.9	2.4	2.1	2.2	1.7	1.9	1.9	0.0
		取引先の支払方法に合わせる	6.3	9.1	9.0	6.1	2.1	0.0	3.4	5.3	7.0	9.1
		影響はない（手形取引がない）	18.8	8.0	6.3	4.9	46.8	24.4	43.1	22.0	13.6	20.5
		その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.7	0.6	0.5	0.0
問3	約束手形の代替手段である電子記録債権（でんさい）の貴社の利用状況について、次の中から１つ選んでお答えください。	既に利用している	30.7	50.9	36.0	30.4	10.6	2.2	14.8	19.9	42.2	53.3
		利用を検討している	9.1	9.1	6.3	26.6	6.4	2.2	3.5	6.3	12.3	13.3
		利用する必要がない	40.7	22.3	35.1	32.9	57.4	73.9	59.1	47.3	34.1	24.4
		導入の方法、利用の方法がわからない	5.4	6.3	6.3	5.1	4.3	6.5	3.5	6.9	3.8	2.2
		電子記録債権（でんさい）を知らない	11.0	5.1	14.4	3.8	21.3	15.2	15.7	16.7	4.3	2.2
		その他	3.1	6.3	1.8	1.3	0.0	0.0	3.5	2.8	3.3	4.4
問4	貴社の売上金の平均回収期間（取引先へ請求してから現金化するまで）はどのぐらいですか。次の中から１つ選んでお答えください。	４ヵ月以上	7.6	12.6	4.5	2.4	2.2	19.6	4.3	8.5	7.0	4.4
		３ヵ月以上４ヵ月未満	15.1	22.3	18.0	23.2	4.3	2.2	5.2	11.3	19.2	22.2
		２ヵ月以上３ヵ月未満	15.6	18.9	15.3	23.2	8.7	6.5	12.1	13.8	16.0	26.7
		１ヵ月以上２ヵ月未満	44.4	39.4	47.7	39.0	50.0	28.3	56.9	46.9	43.2	33.3
		１ヵ月未満	17.2	6.9	14.4	12.2	34.8	43.5	21.6	19.5	14.6	13.3
問5	政府は、約束手形を廃止する過程で、手形等の支払サイトを業種にかかわらず60日以内に短縮する方針も打ち出しています。今後、約束手形の期日短縮・廃止された場合、貴社にどのような影響（メリット・デメリット）がありますか。次の中から最大３つ選んでお答えください。	売上金の早期回収が可能	44.3	64.2	42.0	63.0	21.7	13.3	23.4	42.2	47.6	43.2
		管理リスク（期日経過・紛失等）の軽減	19.1	27.3	17.0	27.2	10.9	6.7	10.8	15.9	24.5	15.9
		手形割引等の利息負担軽減	22.1	36.4	22.3	27.2	8.7	2.2	9.0	19.7	25.9	20.5
		印紙代や郵送費、代金取立手数料などのコスト削減	20.3	33.5	22.3	24.7	4.3	2.2	8.1	14.6	26.9	29.5
		資金繰りが円滑化する	18.7	25.6	19.6	28.4	10.9	2.2	9.9	16.8	21.2	20.5
		新たな運転資金が必要	8.1	11.4	7.1	18.5	2.2	4.4	0.0	6.7	7.5	20.5
		手形取引はない	21.9	9.1	20.5	13.6	39.1	42.2	34.2	25.4	16.5	22.7
		特に影響はない	29.4	15.9	28.6	19.8	39.1	46.7	47.7	32.4	26.4	22.7
		その他	2.3	2.8	1.8	0.0	0.0	6.7	2.7	3.2	1.4	0.0

※調査対象企業数 1585社　有効回答数 590社　有効回答率 37.2％
※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。